

生活単元学習 学習指導案（例）

教科、領域等により
項立ては工夫すること

日 時 平成 年 月 日 ()
10:00~10:45 (第2校時)
学部・学年・学級 小学部4年1組 (4名)
場 所 小4教室
指 導 者 ○○○○ (T1) ○○○○ (T2)

- ・学習内容がイメージしやすい表現
- ・児童生徒の意欲を高める具体的な表現

1 単元名 「おかしをかいにいこう」

2 単元設定の理由

(1) 学級の児童の実態

本学級は4年生の男子3名、女子1名で構成されている。日常的なことをいろいろと話せる児童がいる一方、発語のない児童もあり、コミュニケーションや認知等の発達の状況は多様である。

児童は、これまでの学習の中で、自動販売機でジュースを買ったり、身近な商店で好きなお菓子を買ったりする経験をしてきた。買い物をする活動には大変意欲的に取り組むことができ、お金を大切に扱う態度も身に付いてきている。スーパーマーケットでの買い物については、一人でレジに並んで店員とやりとりしながら支払いができる児童がいる一方、レジに並ぶことにも支援が必要な児童もいるため、児童がスーパーマーケットでの買い物に自信をもって取り組めるように、経験を積み重ねる必要がある。

- ・人数、障害の状況、発達の様子、単元（題材）に対する興味・関心やこれまでの学習経験など

(2) 単元について

買い物は児童にとって身近な活動である。特に、児童が好きなお菓子を食べるために買い物をするという事は、興味関心が高く、主体的な行動が期待できる。また、児童の将来の自立的な生活を考えた上でも、重要度の高い活動であると考えられる。

本単元では、金銭を扱うこと、買う物を選んで購入すること、お店の人とのやりとりの仕方などの学習を行う場面を設定し、自分の力で買い物ができることを目指していきたい。さらに、スーパーマーケットの仕組みや働く人についても関心をもてるようにしたい。

- ・設定した単元（題材）で期待できること、単元（題材）におけるねらいなど

(3) 指導に当たって

指導に当たって、児童全員が見通しをもちながら活動に参加することができるように、教師が見本となる行動を実際にやって見せたり、写真やビデオを使って説明したりするなど工夫したい。また、実際にスーパーマーケットへ行く前に、教室をスーパーに見立てて買い物活動を体験させ、自信をもって買い物ができるようにしたい。また、スーパーマーケットで商品の陳列の様子を見たり働く人と接したりすることを通して、働くことに関心をもつことができるようにしたい。そして、買ったお菓子を教師や友達と一緒に食べるという活動を取り入れ、自分で買い物ができた達成感とその喜びを共に味わえるようにしたい。

さらに、同時期に、国語では関連する文字の学習、算数ではお金に関する学習などを展開することで、より生活にまともりをもたせ、学習効果を高めることができると考えた。そして、今後予定されているお楽しみ会や校内宿泊学習での買い物学習に生かしたい。

これらの学習を通して、児童が様々な生活場面においても、自信をもって主体的に活動に取り組めるようになることを期待している。

- ・ねらいに迫るために設定する学習活動や手立て、具体的な配慮事項、今後の生活へのつながりなど

3 単元の指導目標

- ・単元設定の理由と連動させる。

- ・含まれている教科等の観点及び内容を明確にする。

目 標	含まれている主な内容
①見通しをもち、スーパーマーケットで買い物をすることができる。	生活[金銭の扱い][安全][きまり][人との関わり][社会の仕組みと公共施設]、国語[聞くこと・話すこと][読むこと][書くこと]、算数[数と計算]、自立活動[人間関係の形成][コミュニケーション]、道徳[主として人との関わりに関すること]、[主として集団や社会との関わりに関すること]
②スーパーマーケットでの買い物に必要な店員とのやりとりをすることができる。	
③スーパーマーケットで販売している品物や働いている人に関心をもつことができる。	

4 単元の指導計画（全8時間扱い）

- (1) 買い物の計画をたてよう 2時間
- (2) とちまるスーパーで買い物をしよう 3時間（本時1／3）
- (3) スーパーマーケットに行って買い物をしよう 2時間
- (4) 買い物の振り返りをしよう 1時間

・本時の位置を記入する。

単元の指導計画の作成にあたっては、【3 単元の指導目標】が達成できるようにする。その際、各時間の目標を明確にしておくことが重要である。

5 本時の指導

- (1) 題材名 とちまるスーパーで買い物をしよう

- (2) 本時の目標

- ①好きな品物を選んで買うことができる。
- ②レジの場面で店員とやりとりをすることができる。

・【3 単元の指導目標】と連動させる。

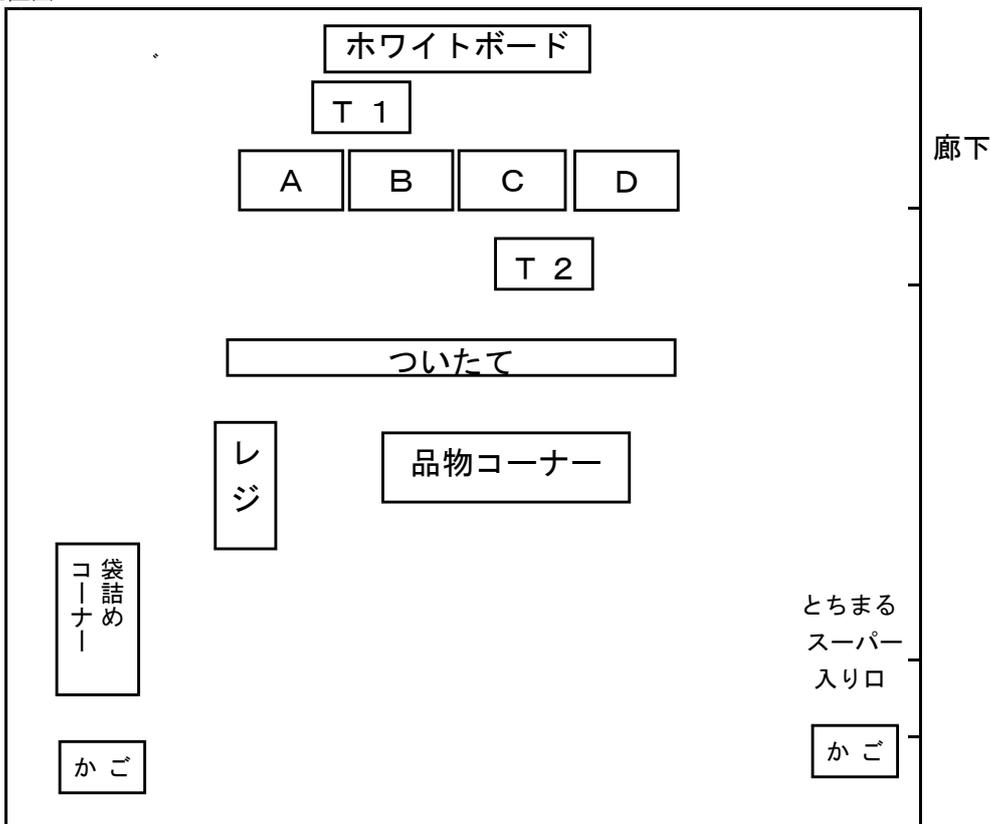
【3 単元の指導目標】は①～③までであるが、本時の目標では③に対応する目標を設定していない。③については、【4 単元の指導計画】(1) 買い物の計画をたてよう (3) スーパーマーケットに行って買い物をしよう で目標を達成させることにしている。

- (3) 児童の実態と本時の個別目標及び評価（別紙1）

・個別の指導計画との関連を明確にする。

- (4) 展開（別紙2）

- (5) 教室配置図



6 年間指導計画（添付資料）

本時（本単元）の位置付けが分かるように、学校で作成している年間指導計画等を添付する。